

苅田町立図書館 新着推し本紹介のコーナー

苅田町立図書館では、図書館で受入をした一般向け新刊図書から、図書館司書が「推し本」と称して各自の視点で「これは！」と思う本について、紹介していくコーナーを作りました。多くの方に「図書館ってこんな本があるんだ」と興味を持ってもらえればうれしいです。



1月の推し本

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』

日本ペンクラブ // 編 ポプラ社 請求記号159.7/ナ/ 資料番号610102303

【紹介文】よくわからないけどモヤモヤする、夢や目標がなくて焦る、もう一回、学校に通えるようになりたいなど10代の様々な悩みに44名の作家や翻訳家たちが本気で答えた一冊。

悩みを解決するには結局自分でその問題に向き合うしかありませんが、この本には向き合うための道筋・考え方が自分の体験を踏まえ答えられています。

作家や翻訳家たちの言葉は具体的だったり、厳しかったり、優しかったりと様々ですが、そっと背中を押してくれる言葉であふれています。

10代の悩みに答えた一冊ですが、大人の方にもおすすめの本書です。

『九州聖地巡礼ガイド 神仏ゆかりの地をめぐる』

「旅ムック」編集部 // 著 メイツ 請求記号 175.9/キ/ 資料番号610099384



【紹介文】現在、バスツアーでは人気のコースでもあるパワースポット巡り。古来より、人々が信仰してきた社寺のほか、その土地に宿るといってパワーを頂こうと参加する人が多く見受けられます。霊験あらたかな神々の土地を一度は拝んで、ご利益をもらいたい！そのような場所を九州全県より隈なく探し、「必見」として多く紹介されています。また、そこにまつわる話も興味深いものです。

福岡県でいえば、「宗像大社」「太宰府天満宮」はもちろんのことですが、実は苅田町のある処が2カ所掲載されています。身近にあるということも興味深いです。

『マスクの品格』

大西 一成 // 著 幻冬舎 請求記号 492.8/オ/ 資料番号610100919

【紹介文】マスクといえば、現在はドラッグストアなどで売られている不織布の「衛生マスク」が一般的となっています。「空気中の微粒子ウィルス99%カット」というようなパッケージの説明を見るとこのマスクをつけていれば安心安全と思うかもしれませんが、著者はそうではないと指摘しています。

なぜマスクをつけるのか。風邪予防？花粉対策？顔を隠すため？自分の目的に合ったマスクについて知るための専門書！

目的別に正しいマスクの選び方などを科学的検証やイラスト解説を交えながら、教えてくれる一冊となっています。

『農業新時代』

川内 イオ // 著 文藝春秋 請求記号 612.1/カ/ 資料番号610101966



【紹介文】日本の農業は、今、面白くなってきている。確かに現実はいまだ、後継者不足や、生産者所得は低いわけで、農業就業人口は下降するばかり。疲弊しきった日本の農家。日本の食卓を支える重要なポジションにあるにもかかわらず、不安要素だらけの現状ではある。がしかし、そこに切り込んでいく人たちもいる。この本ではその10人の仕事を紹介するとともに、常識を覆すようなやりかたで、農業というものにとらえ方そのものに新しい未来像を見せてくれている。「日本の農業はポテンシャルの宝庫ですよ」と。

『欲望の名画』

中野 京子 // 著 文藝春秋 請求記号 723/ナ/ 資料番号610091951

【紹介文】有名な絵画でも、どのような背景で描かれたものなのか？意味が分かればさらに鑑賞する楽しさも増えますよね。

中野京子さんの名画解説本は、他にも図書館に所蔵がありますが、どれもわかりやすく面白いです。本書の冒頭に登場するのは、ドラクロワの「怒れるメディア」。何も知らずに見たときと実際の意味とは180度違っていてびっくりしました。

「目で見たものがすべてではない」「絵画にもドラマがある」
ひとつひとつが短くまとめられているので、絵画に興味を持ち始めた方にもおすすめです。

『知っておくと役立つ街の変な日本語』

飯間 浩明 // 著 朝日新聞出版 請求記号 810.4/イ/ 資料番号610099533

【紹介文】『三省堂国語辞典』編集委員であるこの本の著者は、日常の至る所で使われている日本語を常にチェックしています。その言葉がなぜ生まれたか考察し、定着するかしないか動向を見守ります。そこには厳しさや正しさではなく、日本語と日本語を使う人々への深い愛情と尊敬があります。

つい笑ってしまったり、「へー」と感心したり、「そういうことか」と納得したりと、気楽に読める本です。読後、自分の日本語の幅が広がった気がします。

この書籍は、朝日新聞土曜版『be』連載をまとめたものです。



問い合わせ先

荻田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30（木・金は19：00まで。本館のみ）

ホームページから蔵書検索もできます

<http://kanda-ed.jp/>



(2020.2.7発行)